



# 飲料総合専門誌 ならではの、プロフェッショナルな情報をお届けします

1978年創刊。

自社取材記者が独自の視点で

飲料業界の専門的な情報を報道する

## 飲料産業に関わるすべての方へ

1978年創刊のビバリッジ ジャパンは、飲料産業に関わる幅広い内容を総合的に取り扱う飲料総合専門の月刊誌です。

主な対象分野は炭酸飲料、果実・野菜系飲料、茶系飲料、コーヒー飲料、スポーツ・機能性飲料をはじめとする各種清涼飲料水、ミネラルウォーター類、牛乳・乳飲料類のほか、ビール系飲料、チューハイをはじめとするアルコール飲料等です。

また購読者は飲料メーカーをはじめ、パッカー、原材料、香料、添加物、プラントエンジニアリング、製造機器、容器包装、リサイクルなど関連産業、商社、官公庁、シンクタンク、証券会社など幅広い産業にわたっております。

弊誌は、飲料および関連産業に関わるみなさまのお役に立つ情報を編集方針として掲げ、長年の取材経験をもとに飲料の専門的な情報を豊富に掲載しております。

この機会に、ぜひご購読をご検討ください。

まずは、このダイジェスト版をご覧ください。

少しでも気になりましたら、お気軽に本誌の見本誌をご請求ください。

本誌を見本誌として1冊無料で送付いたします。

お気軽にお申し込みください。

[https://www.beverage-j.co.jp/dj\\_mihon.html](https://www.beverage-j.co.jp/dj_mihon.html)



**NEW PRODUCTS**

毎月発売される清涼飲料、アルコール飲料各メーカーの詳細な新製品情報と解説。

詳しくは P.10へ

**工場レポート・事例研究・新技術**

最新の技術、充填ラインや製造工場を詳細にレポート。最新の飲料原料事情や技術・機器、展示会レポートなどを掲載。

詳しくは P.7へ

**特集／特別企画**

容器、原料素材、市場動向などを飲料の総合的な視点から、製品開発・マーケティング等に役立つ特集を毎月掲載。

詳しくは P.4へ

**海外事情**

海外の飲料最新事情・原料等のレポートを現地取材し掲載。海外の飲料ニュースは毎月掲載。英国「FoodBev Magazine」誌の翻訳記事も毎月掲載。

詳しくは P.8へ

飲料総合専門誌 月刊ビバリッジジャパン

**Beverage Japan**

**統計資料・産業ニュース**

飲料産業関連のニュースの紹介と解説を毎月掲載。飲料関連20種以上の最新統計資料も掲載。

詳しくは P.11へ

**市場動向・最新素材・技術**

主要各社の単月のトピックスやマーケティングなどのテーマに沿った市場レポートを毎月掲載。

詳しくは P.6へ

## 特集／特別企画

精力的な取材をもとに、豊富な図表や資料を使用し特集を組んでいます。

## 市場動向

### 2023年上期の清涼飲料市場総括

変調の清涼飲料市場、猛暑・制限解除への期待は粉碎か？

### ミネラルウォーター・炭酸水類と宅配水市場

水市場の変化に見るミネラルウォーター、宅配水の未来

### ビール系飲料市場 2023

ビール回帰に光明、18年ぶりの前年超え

### 2022年の清涼飲料市場総括と 2023年の成長戦略

回復から成長に向かうか？ 清涼飲料次の一手

## 原料・素材・ 技術

### 飲料の新製品開発—香料

次世代の飲料開発が向かう先を探る

### 機能性飲料市場と機能性素材

機能性表示食品の多様化と標準化

### 飲料製造のための最新技術・機器

### フルーツ・野菜ジュース

コロナ禍を経て果実飲料や野菜系飲料の向かう先を探る

## 容器

### PETボトル

ポストコロナ時代のPETボトルと飲料産業

### ガラスびん

ガラスびんは産業構造改革の達成に  
いち早く向かうか

### 紙容器

容器の多様性と紙容器市場

### 飲料缶

産業構造の大変革、  
飲料缶市場はどうなるのか？



### 特集 飲料の新製品開発—香料 次世代の飲料 開発が向かう 先を探る

### 特集 2023年 上期の 清涼飲料 市場総括

2023年は“ポストコロナ”に向かって本格的に経済活動が再開し、外出増が飲料消費の回復につながるものと大きく期待されていた。ところが同時期の急激な円安、長期化するロシアによるウクライナ侵襲、原材料・資材・エネ



### 変調の清涼飲料市場、 猛暑・制限解除への期待は粉碎か？

清涼飲料市場が変調を来している。2023年上期は、2022年から“ポストコロナ”に向かって本格的に経済活動が再開し、外出増が飲料消費の回復につながるものと大きく期待されていた。ところが同時期の急激な円安、長期化するロシアによるウクライナ侵襲、原材料・資材・エネルギーの高騰が影響を及ぼしている。また、消費者の嗜好の変化や健康志向の高まりも、飲料市場に大きな影響を与えている。本誌では、この2023年上期の清涼飲料市場の動向と今後の展望について、最新のデータに基づいて詳しく分析している。

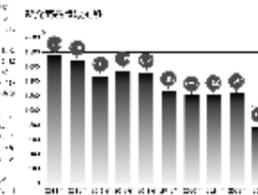
本誌を見本誌として1冊 **無料** で送付いたします。  
お気軽にお申し込みください。



[https://www.beverage-j.co.jp/dj\\_mihon.html](https://www.beverage-j.co.jp/dj_mihon.html)

品名	単位	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
PETボトル	億本	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5
紙容器	億本	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3
飲料缶	億本	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
ガラスびん	億本	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

品名	単位	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
PETボトル	億本	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5
紙容器	億本	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3
飲料缶	億本	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
ガラスびん	億本	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2



飲料関連の市場概況、マーケティング情報、最新の素材や技術のご紹介をしています。

トレンド  
レビュー

フェムテック/フェムケアは飲料業界の金脈となるか？  
進化を続ける明治の乳児用液体ミルク  
飽和したコーヒー系飲料市場に見るサバイバルゲーム

マーケティング

次世代の清涼飲料の有り様を見せる取り組み  
(サントリー食品インターナショナル)  
ビール4社の下期戦略/酒税改正を契機にビールの  
需要拡大策で攻勢に出る

新素材

プラセンタパウダーとヘスペレチン配糖体製剤  
植物性ミルクの高付加価値化に向けた次の一手とは？

新技術

大型のフォームフィルシール機を開発(四国化工機)  
レトルト殺菌紙容器の可能性(日本テトラパック)

市場概況・  
その他レポート

BJ Market report  
市場概況を毎月掲載  
事例研究：PET ボトルリサイクルの現場  
PET リサイクルの最上流、回収現場における事例2例  
Mini Report：牛乳・乳飲料市場  
苦戦の2022年、市場・消費を刺激する各社の取り組み

本誌を見本誌として1冊無料<sup>※</sup>で送付いたします。

お気軽にお申し込みください。

[https://www.beverage-j.co.jp/dj\\_mihon.html](https://www.beverage-j.co.jp/dj_mihon.html)



最新の工場取材レポート、また最新技術・機器関連などをご紹介します。

工場レポート

キリンビバレッジ株式会社湘南工場  
新世代の世界標準を狙う低酸性飲料の  
新・無菌充填システムの商業運転開始  
みちのくコカ・コーラボトリング株式会社  
地元密着を追求した生産体制の大規模リニューアルを敢行  
アサヒビール株式会社名古屋工場  
徹底した省人化によるPET ボトル飲料の製造拠点  
サントリー天然水北アルプス信濃の森工場  
最新鋭工場が志向する飲料工場の未来像  
東洋食品工業短期大学  
飲料・食品加工の未来を担う専門家を養成する専門学府  
南海果工株式会社 × 株式会社片岡バイオ研究所  
果汁工場の廃水処理で発生する余剰汚泥を劇的に削減



# 海外事情

一般ビジネス誌ではあまり取り上げられない、アジア、ヨーロッパを中心とした現地の飲料事情や原料産地などを取材、レポートしています。また日本企業の取り組みなどもご紹介しています。

# 海外レポート

## タイ飲料市場と日系飲料企業

ハウス&オソサファ、ビタミンC飲料市場の確立とこれから  
タイで成功する飲料関連産業

## Austria Juice

欧州最大のリンゴ果汁メーカーが実践する“EES”と持続的農業

## カナダ、メープルウォーター

メープルウォーターが狙うプラントウォーターの世界最先端

## アルゼンチン

世界最大のレモン産地アルゼンチンと、その有力サプライヤー

# International News

## 世界の飲料事情・製品・素材・技術などを毎月掲載

- PET 製キャップでリサイクル性向上へ
- 水出しコーヒーとウイスキーのカクテル
- ココナツとカシューナッツの無糖ミルク
- Brexit の混乱が続く英国金属缶産業界
- 魚由来コラーゲン配合のヘンプ飲料
- ペパーミント味の水出しコーヒー など

# News From U.K.

## 英国「FoodBev Magazine」誌との提携による相互記事

ニッチな需要に金鉱脈を見る  
今こそ発信すべき飲料の価値 奮闘する海外メーカーの最新例  
ジャパニーズノンアルコールスピリッツの可能性を探る  
ロングセラーブランドの挑戦、攻めの姿勢を追う  
活況続く世界のウェルネス・ショット飲料市場



**特別レポート Austria Juice**  
欧州最大のリンゴ果汁メーカーが実践する“EES”と持続的農業  
その②：ハンガリーにおける“EES”の実践と現場

「特別レポート」は、読者の関心を高めるために、最先端の現場をレポートしています。今回は、ハンガリーのリンゴ果汁メーカー Austria Juice が実践する「EES」と持続的農業の現場をハンガリーの Austria Juice Hungary 社に赴き、現地記者が取材したレポートです。

**ハンガリーのリンゴ産地**  
ハンガリーは中央部から東部にかけてリンゴ栽培が盛んであり、その中でも東部のトランスシルヴァニア地方、特にザンパー地区がリンゴ産地として知られています。ザンパー地区は、リンゴ栽培の歴史が古く、19世紀からリンゴ栽培が盛んであり、ハンガリー産リンゴの約80%を生産しています。また、ハンガリー産リンゴは、品質が高く、世界的に知られています。

「特別レポート」は、読者の関心を高めるために、最先端の現場をレポートしています。今回は、ハンガリーのリンゴ果汁メーカー Austria Juice が実践する「EES」と持続的農業の現場をハンガリーの Austria Juice Hungary 社に赴き、現地記者が取材したレポートです。

「特別レポート」は、読者の関心を高めるために、最先端の現場をレポートしています。今回は、ハンガリーのリンゴ果汁メーカー Austria Juice が実践する「EES」と持続的農業の現場をハンガリーの Austria Juice Hungary 社に赴き、現地記者が取材したレポートです。



**INTERNATIONAL NEWS**

**【日進月歩の飲料向けデジタル印刷技術】**  
飲料向けのデジタル印刷技術は10年前と比較して飛躍的に向上している。2010年頃、Ball社がデジタル印刷技術の開発者として、飲料向けのデジタル印刷技術の可能性に関して、コンピューターの高処理能力の限界を理由に懐疑的な見解を示していた。また世界的製缶企業のオランダTrivium Packaging (旧Impress)社は、ブリキ缶へのデジタル印刷技術の開発に本格的な投資を行なってきた。その一方で、紙やプラスチックなどの包装材へのデジタル印刷は、アナログ印刷の脅威になるほどの技術革新を遂げた。その先駆者であるHP社は、「Indigo Digital Press」でデジタル印刷の拡大を牽引した。2015年に開催されたInternational Metal Decorating and Packaging Association (IMDPA)の会議で、缶へのデジタル印刷の商業的可能性について多くの議論が交わされた。

**【英国プラスチック産業界のコロナ禍の就業】**  
British Plastics Federation (BPF)：英国プラスチック連盟は2021年7月、コロナ禍におけるプラスチック関連産業の就業状況を明らかにした。調査は7月22日～23日にBPFの会員を対象に実施され、プラスチックの加工業者、原料メーカー、リサイクル業者、機器メーカーなど計106社から回答を得ている。それによると、従業員自身の感染や濃厚接触による自己隔離、顧客からの他者の世帯などで仕事をしている従業員がいる企業が71%に上った。これらの企業は平均すると8%の従業員が休まざるをえない状況にあるという。労働力不足は生産性に深刻な影響を及ぼす。調査によると53%の企業が生産規模を縮小しており、その理由として従業員不足が48%、原料不足が40%と続く。ただし、従業員数を今後減らす予定と回答した企業は4%にとどまる。またパンデミック以降、5社中1社が生産の完全停止に追い込まれているが、50%の企業が工場を自動化を検討しており、また60%の企業が在宅勤務を恒久的な制度に変更したという。

調査結果についてBPF事務局長のPhilip Law氏は、従業員の安全が最重要としつつ、労働力不足の悪化によって生産性が低下し、多くのサプライチェーンで混乱が発生する危険性への警戒感を示している。

**【タイ飲料市場と日系飲料企業】**  
タイは東南アジアの中心地であり、人口が6億人を超えている。タイは東南アジア最大の飲料市場であり、日系飲料企業はここ数年で急激な成長を遂げている。タイ飲料市場は、人口増加、都市化、所得向上などの要因により、今後も成長を続ける見込みである。また、タイ飲料市場は、健康志向の高まりにより、ノンアルコール飲料や機能性飲料の需要が増えている。日系飲料企業は、これらの市場動向を捉え、積極的に市場参入を進めている。また、タイ飲料市場は、競争相手の増加により、競争が激化している。日系飲料企業は、差別化戦略を打ち出し、市場での競争力を強化している。





# 見本誌を無料で差し上げます!

飲料総合専門誌ビバリッジ ジャパンに興味をもっていただきありがとうございます。ダイジェスト版では詳細をご覧いただけないので、ぜひ一度、実際の本誌をご覧ください。無料で1冊送付いたします。



## 専用フォームからお申し込み

ホームページの見本誌申し込み専用フォームより、お申し込みください。

[https://www.beverage-j.co.jp/dj\\_mihon.html](https://www.beverage-j.co.jp/dj_mihon.html)

受付完了後、発送いたします。



## FAXからお申し込み

右欄に名刺を貼付していただくか、必要事項をご記入の上、FAX送信してください。受付完了後、発送いたします。

**FAX 03-3989-8727**

会社名	
部署名	役職
氏名	
住所	
TEL	

名刺貼付  
またはご記入ください

## 本誌購読者限定 電子書籍版ビバリッジ ジャパン

従来の紙の本誌での購読に加え、デスクトップ、スマートフォン、タブレットでの電子書籍版の閲覧が可能になりました！  
電子書籍版は本誌定期購読者限定サービスです。



## 定期購読のお申し込み

ビバリッジ ジャパンは書店でお求めいただけません。読者の方に直接お届けいたします！  
今すぐ定期購読をご希望の方はホームページ、またはお電話で。

ホームページ <https://www.beverage-j.co.jp>

「定期購読申込みページ」よりお申込みください。



お電話 **03-3989-8707**

### 定期購読料

**1年間 (12冊) 本体価格 54,120円 (国内送料・消費税込)**

↑1冊ごとの購入より年間で**19,800円お得です!**

### バックナンバー

**1冊 本体 6,160円 (国内送料・消費税込)**

- 発行回数：月刊・毎月28日発行 (年間12回)
- 判型：A4/約100頁 (カラー・モノクロ)
- 販売方法：国内：直販のみ  
海外：指定代理店経由